

都民ファーストの会 東京都議団 総務会長

東京都議会議員  
(中野区選出)

# 荒木ちはる



1982年3月生まれ。久留米大学法科大学院法務研究科（法務博士）修了。小池百合子衆議院議員公設第一秘書（秘書歴6年）、東京都知事小池百合子事務所長を経て、2017年より東京都議会議員（3期）。厚生委員会理事。

## 令和7年度補正予算が成立！ 皆様の暮らしを守る政策が次々と実現しています。

### 政策1

#### 出生数 10年ぶり増加！ 子育てしやすい東京へ

東京都では、2025年上半期の出生数が前年同期比で0.3%増加し、10年ぶりにプラスへ転じました。長期的な減少傾向の中での下げ止まりは重要な兆しであり、都民ファーストの会東京都議団と知事が進めてきた包括的な子育て施策の成果です。都内の子育て世帯の約9割が「東京は子育てしやすい」と回答しており、保育料無償化や所得制限撤廃、無痛分娩費用助成などの取り組みが確実に評価されています。一方で、国の調査では「子どもを持たない理由」の最多が経済的不安であり、結婚前や妊娠前の段階から支援内容を伝えることが重要です。私たちは結婚や子育てに前向きな気運を醸成し、都民の「叶えたい」を後押ししてまいります。



### 政策2

#### 台風被害からの 復旧・復興へ 島しょ部を全力で支援

昨年10月、台風22号・23号が相次いで八丈島や青ヶ島を襲い、観測史上最大の大雨により深刻な被害が発生しました。都民ファーストの会東京都議団は現地を視察し、住民の声を直接伺った上で知事へ緊急要望を提出。知事も発災直後に現地を訪れ、復旧と復興を進める方針を示しました。都は飲料水や食料の先行搬送、応援職員派遣、停電や断水の解消などに取り組み、応急復旧を進めてきました。今後は無電柱化などインフラ強化、農業・漁業・中小企業施設の再建、観光再開、雇用維持などを強力に推進します。私たちは一日も早い復旧と復興を後押しし、島しょ部がより魅力と活気にあふれる地域となるよう全力で取り組んでまいります。



### 政策3

#### 東京アプリで 物価高から 暮らしを守る

東京都は、家計を直接支える「東京アプリ生活応援事業」において、都民認証ポイントを7,000から11,000へ拡充しました。都民ファーストの会東京都議団は、これまで迅速かつ公平な支援の実現を求めてきた経緯があり、今回の拡充は多くの都民から歓迎の声が寄せられています。マイナンバーとの連携により、現金給付に比べて事務コストを抑えつつ、確実に支援を届けられる仕組みは、今後の都民生活の新しい標準となる可能性を秘めています。一方で、対象が約1,100万人に及ぶ大規模事業であるため、アクセス集中やシステム障害への備えが不可欠です。私たちは、安心して利用できる環境整備を都に強く求め、事業の円滑な実施に向けて引き続き取り組んでまいります。



# 「東京から未来を切り拓く！」

令和7年第4回定例会は、12月2日～12月17日(16日間)で行われました。  
今回は、代表質問で議論されたテーマを中心に報告します。

小池知事



## ① 赤ちゃんファースト 3万円増 ～物価高から 子育て家庭を守る～

育児用品などと交換できる「赤ちゃんファーストギフト」を拡充。令和8年1月～9年3月に生まれる子どもには従来の10万円に3万円を加えた13万円相当を支援し、安心して子育てできる環境を整えます。



## ② 認知症専門医療 体制の整備 ～安心して地域で暮らし続け られる東京を目指して～

高齢者の約6人に1人が認知症となる見込みを踏まえ、今年度、認知症医療の実態調査を実施している。入院先不足や施設間連携の課題を把握し、**かかりつけ医・病院・介護施設が連携できる医療体制の整備を進めます。**



## ③ 女性活躍推進条例で 東京の未来を切り拓く ～性別を問わず成長できる 職場づくりを後押し～

女性が力を発揮できる環境を整えるため新たな**女性活躍推進条例が可決**されました。雇用分野での活躍促進を通じて企業の競争力向上にもつなげ、既存施策を統合・強化し、**男女がともに活躍できる社会づくりを進めていきます。**



## ④ 賃上げを後押しし 若者の将来設計を支える ～物価高騰を上回る賃上げと 伴走型支援の強化～

物価上昇を上回る賃上げを定着させるため、**手取り時間創出や職場環境改善**と併せた取り組みを行う企業支援として、専門家の助言を受け、確認後に奨励金を支給。**中小企業の持続的賃上げを後押しし、若者世代が安心して将来設計ができる社会**を目指します。



## ⑤ 不登校支援の強化へ 校内別室指導支援員の拡充を推進 ～子どもが「通いたい」と思える 環境づくりを都が後押し～

公立小中学校の不登校は12年ぶりに減少したものの、支援強化は引き続き重要です。都教委は約400校に校内別室指導支援員を配置し、今年度は**国制度を活用して90校以上を追加支援**。今後も支援員の拡充を進め、**学校に通いたい子どもを受け入れる体制を整えていきます。**



## ⑥ スタートアップ戦略を バージョンアップ ～官と民が力を合わせて 未来産業を創出～

スタートアップ施策をさらに加速し、SusHi Tech Tokyoはアジア最大級に成長、TIBも国内外を結ぶ拠点となりました。今後は約30社へ戦略的投資を行い、**官民連携で新産業を育て、東京発の世界展開を進めていきます。**



## 世界陸上東京大会の成功と未来 ～スポーツの力を未来へ～

世界陸上は1983年の初開催以来、世界最高峰の陸上競技大会として人類の限界に挑む舞台であり、競技発展だけでなく国際交流や平和の象徴としての役割も担ってきました。東京大会は、**五輪後のスポーツ文化を継承し都市の活力を高める目的で開催され、多くの観客とボランティアに支えられ成功**を収めました。特に、私たち都民ファーストの会東京都議団が求めてきた透明性を重視した運営は五輪談合事件を踏まえた新たな挑戦で、公正な大会運営のモデルとなりました。この経験は持続可能なイベント運営として地域活性化や若者参加、国際的信頼の回復につながり、**未来の都市づくりに資するレガシーを残しました。国際大会を東京に誘致することで、東京の国際的なプレゼンスが上がるよう、私たちは引き続き取り組んでいきます。**



## デフリンピック東京大会の挑戦と成果 ～共生社会へつなぐスポーツの力～

デフリンピックは、聴覚障害者の国際総合スポーツ大会として長い歴史を持ち、世界中のデフアスリートが力強いパフォーマンスを披露する舞台です。東京大会では日本選手が多くの競技で活躍し、観客に大きな感動を与えました。大会を通じて**手話通訳や字幕サービスが充実し、バリアフリーな運営が進んだことは、共生社会の実現に向けた重要な一歩となりました。**デフアスリートの挑戦は若者や企業に新たな価値観を示し、障害者スポーツの普及や社会参加の促進にもつながっています。デフリンピック東京大会は、**競技の枠を超え、誰もが生き生きと暮らせる未来を拓くレガシー**を残しました。都議会は昨年、「**情報コミュニケーション条例**」を超党派で議員提案し可決しました。さらなる段差のない社会の実現に向け、取り組んでいきます。



# 荒木ちはる

東京都議会議員(中野区選出)

都政・都議会についてのご意見・要望をお聞かせください

〒164-0001 東京都中野区中野2-12-5-1F  
TEL : 03-6382-5557 FAX : 03-6382-5537  
info@araki-chiharu.com

